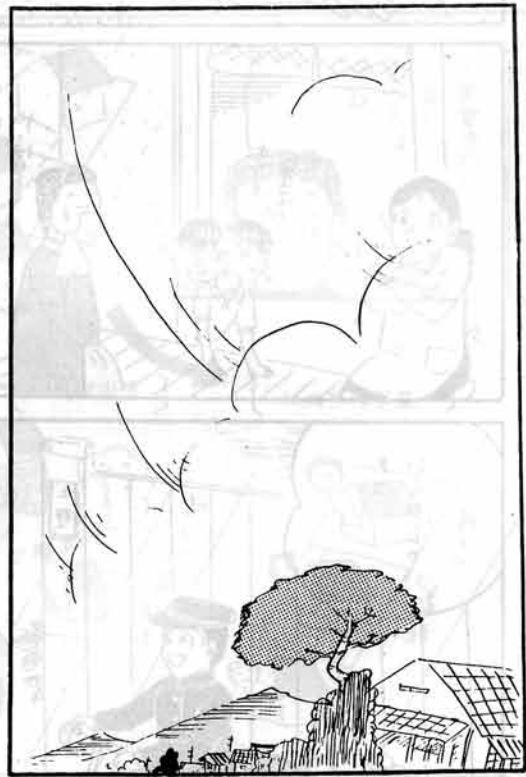
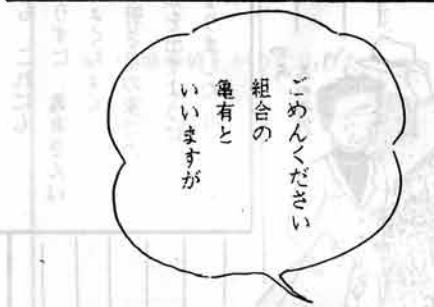


僕の町がかわる 第5回

ある区画整理の記録

作画 落野 順



あつ・いや
今日は違うんです
お詫びに伺つたんで
先日は誠に申し
訳ありませんでした

ムツ・また
新手!
しつこいわ
ねえ!



キッパリ

でも、
それはそれ
うちは、絶対に
ここを動きません
からね

前任者との引継ぎが不十分な
ために、上野さんに不愉快な
思いをさせてしまって、
誠にお恥ずかしいことで
ご迷惑をおかけしました

キツイ
木下

は、はあ...
やるばかり?

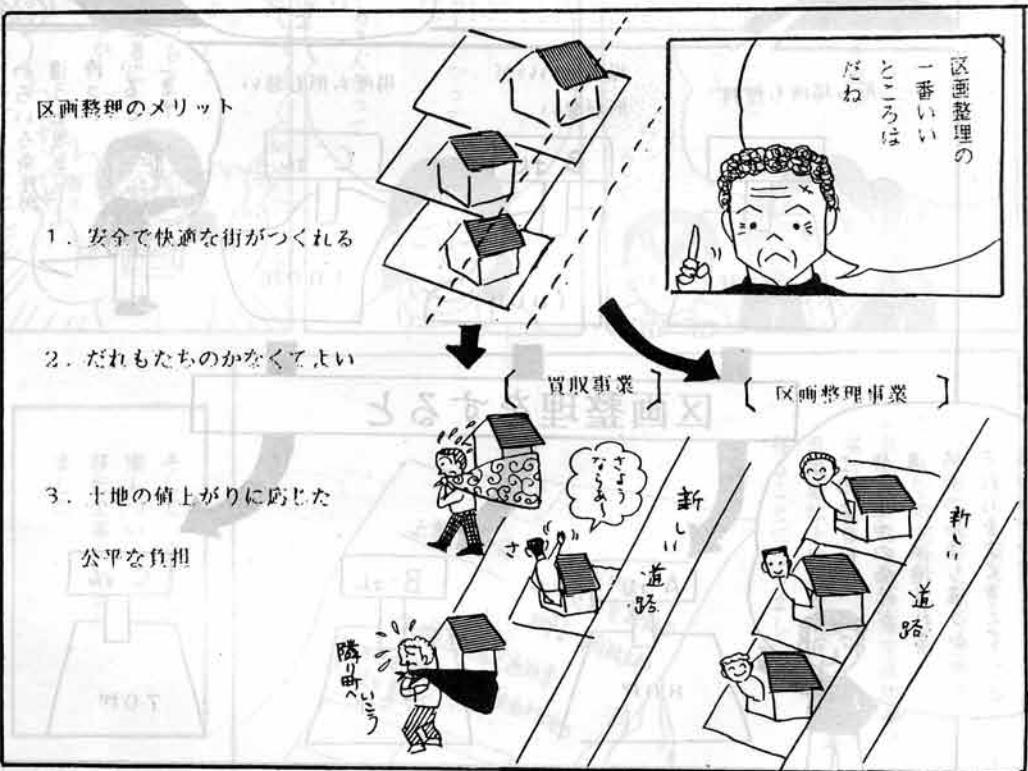
あら、
わかつて
いただけたら
いいんです

でも、これにも
こりずに、蓮有さんは
ちよくちよく
上野さんの家にの
頬を出すよう
なりました

あつ、
いうつしやい

上野

やあ、
あがねり

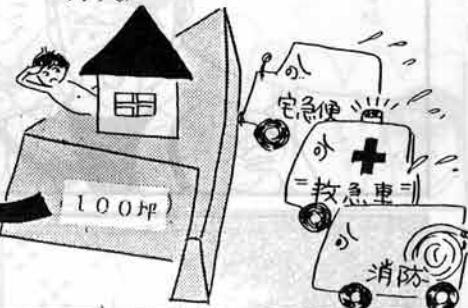


広い舗装道路に面して便利
土地も宅地として利用しやすい
土地の資産価値が上がる

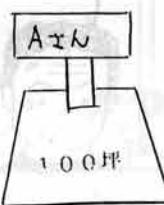


区画整理をすると

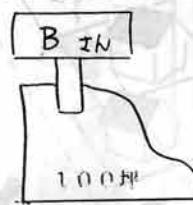
はい 確かに今の土地は
車が入らずに不便
形は不整形で使いにくい
特に火事などの時は消防車が
入らない



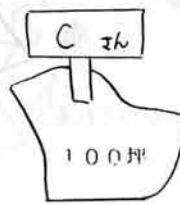
形も場所も便利



場所はいいが
形が悪い



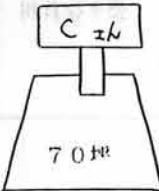
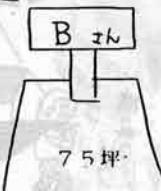
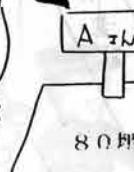
場所も形も悪い



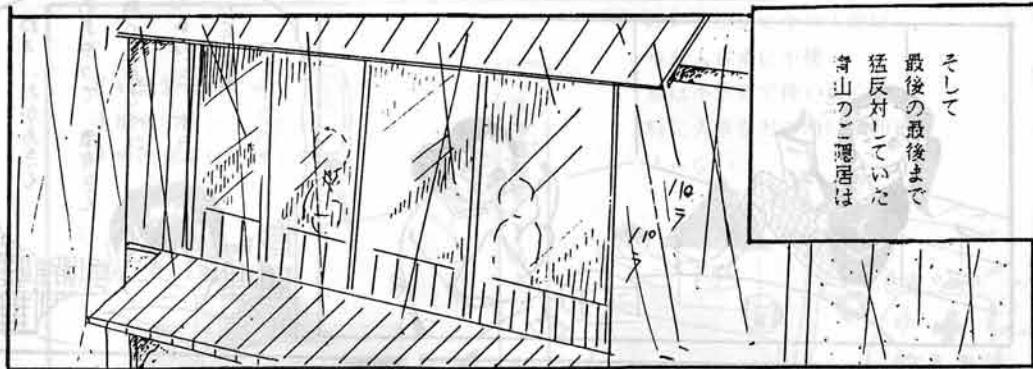
二人の人が同じ坪数だがいろいろ条件の違う土地を伺つてみるとします

区画整理をすると

このように皆、土地の条件が違うし、換地される場合の条件も違うからそれらをよく考えて減歩率を計算するんだ







青山さんが静かに
余生をおくられたい
のと同じように
私にはこの区画整理

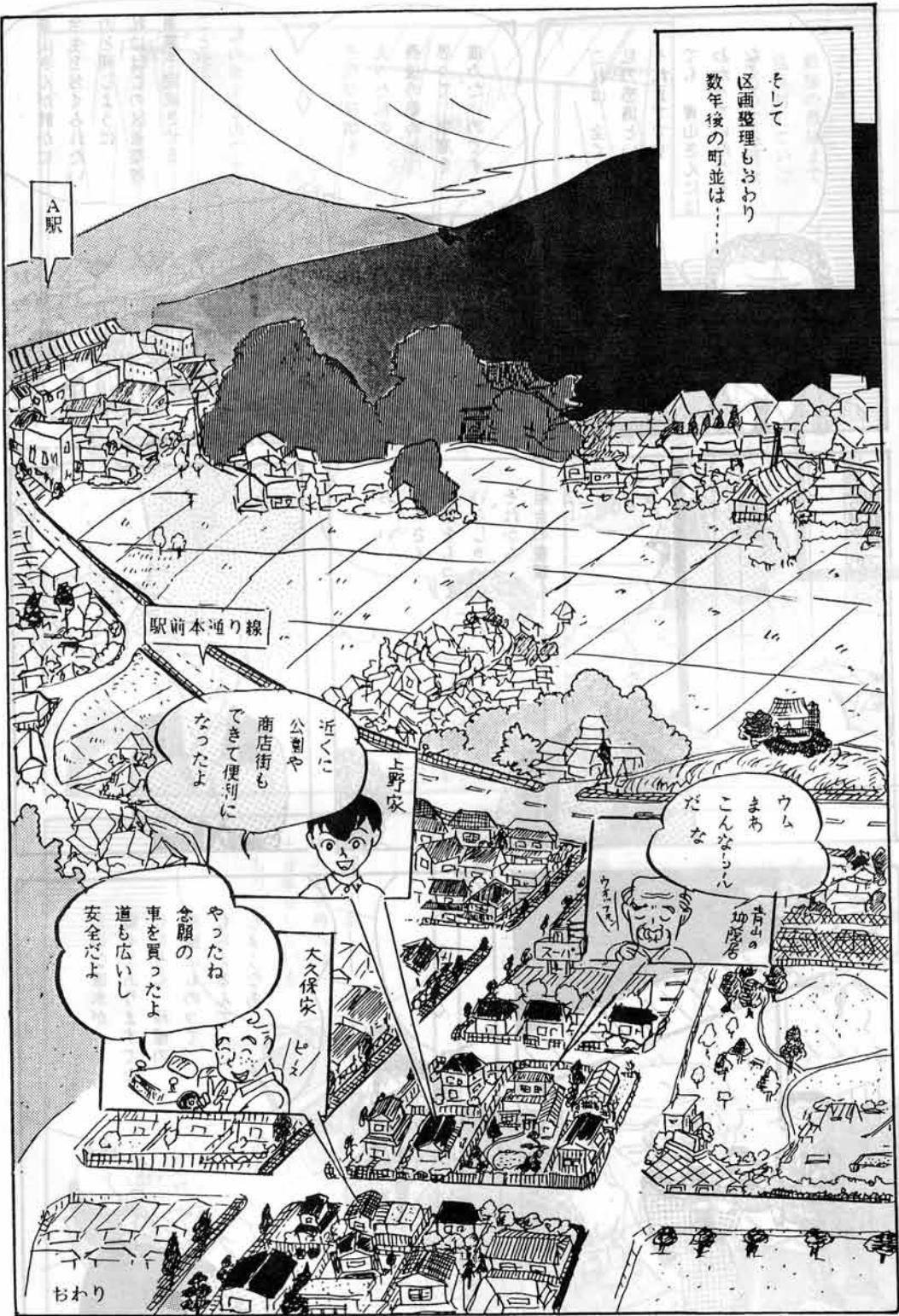
事業を完成させる
ことが
私の余生なのです

それが孫娘を
失った私の
最後の勤めと
思つて 事業を
進力たいのです

これは 全く
私の感傷といえば
それまでです
でも 青山さんには
わかつていただき
たくさ



そして
区画整理もさわり
数年後の町並は……



この作品はすべてフィクションであり、実際の人物、団体には、一切関係ありません。